

エンジンコンプレッサ
アフタクーラ仕様
PDS-Cシリーズ

まちの未来、くらしの未来。
AIRMAN®

After Cooler Type **Engine COMPRESSOR**

2.1~11.0 m³/min

**エンジンコンプレッサ
アフタクーラ仕様
PDS-Cシリーズ**



PDS175SC

HOKUETSU INDUSTRIES CO., LTD.

次世代コンプレッサ PDS-Cシリーズ

内蔵のアフタクーラで圧縮空気を冷却し、水分を除去します。
エアツールの「凍結」や「水が飛散して汚れる」、「熱くて持てない」といった心配がありません。
ハツリ作業やブラスト、塗装作業に最適です。



PDS100SC

凍らない！
汚れない！



PDS175SC
(スキッドタイプ)

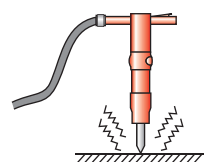
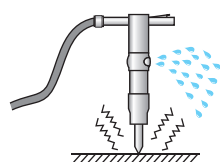
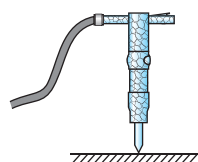
意匠登録済



PDS390SC
(トレータイプ)

コンプレッサ使用时、こんな経験ありませんか？

凍って動かない！ 水が飛散して汚れる！ 熱くて持てない！



Cタイプなら

作業効率UP

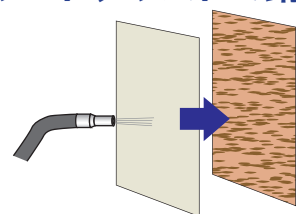
エアツールが動かない！



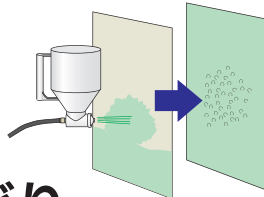
Cタイプなら

修理代激減

サンドブラストで錆びた！



塗装に気泡ができた！



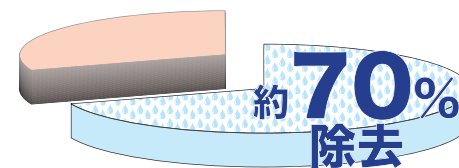
Cタイプなら

満足な仕上がり

Point1

吐出空気中の水分を除去

■吐出空気的水分量
(大気圧、気温30℃、湿度70%、標準機を100とした場合)



吐出空気から発生する水分量

(0.7MPa、気温30℃、湿度70%)

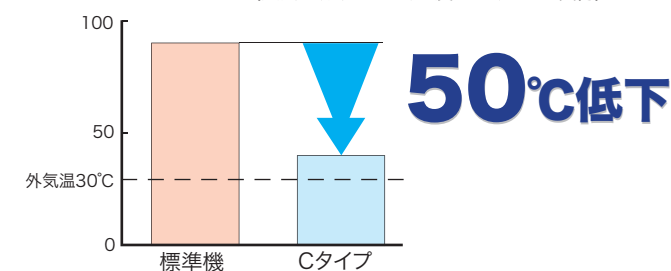
ブレーカ(1.4m³/min)を4時間使用した場合



Point2

吐出空気の温度を低下

■吐出空気温度 (大気圧、気温30℃、湿度70%、100%負荷)



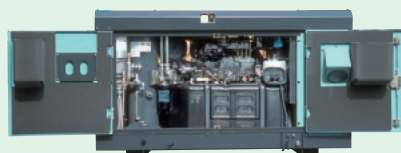
Cタイプなら

直接エアドライヤに接続可能

ブラスト作業時、別置きのアフタクーラを取り付ける必要がありません。
(標準エアドライヤの入気温度は一般的に2～60℃です。)

新設計のピラーレス構造

新設計のピラーレス構造により、支柱のない大型観音開き式ドアを実現。メンテナンス性が大幅に向上しました。
(PDS75SC～265SC)

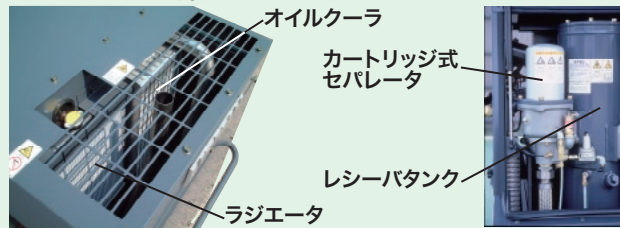


クイックチェンジ PDS265SC/390SC



楽々メンテナンス

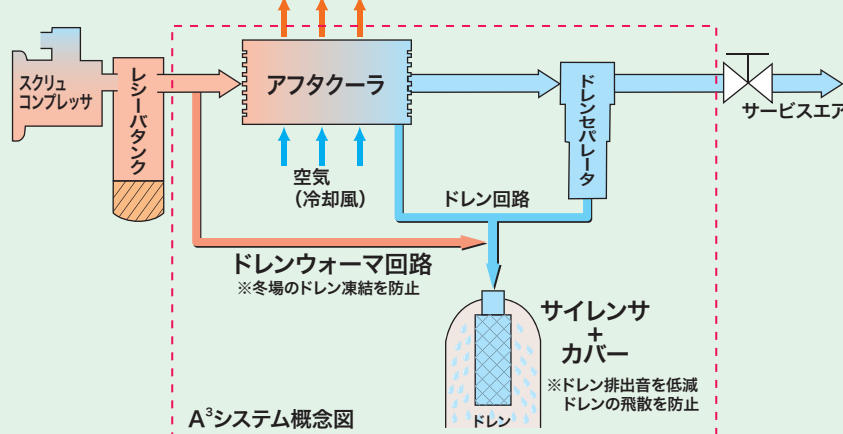
ラジエータ、オイルクーラを並列配置することにより清掃が容易に行えます。
PDS130SC～175SCには交換が簡単に行える、カートリッジ式セパレータを装備しました。(特許出願中)
アンローダ、オートレリーフバルブにはダイヤフラムレスのピストン式を採用しました。



エーキューブ

A³システムを新採用

A³: AIRMANN Advanced Aftercooler 【特許】



従来機ではドレン排出バルブからドレンを排出していました。そのため排出(大気解放)時に音が発生し、さらに冬場にはバルブが凍結する恐れがありました。
新設計のA³システムは、サイレンサで騒音を低減し、ドレンウォーマ回路により冬場の凍結を防止するシステムです。
1年を通してアフタクーラの機能を最大限に発揮し、安心して使用できます。

■仕様

項目	モデル	PDS75SC	PDS100SC	PDS130SC	PDS175SC	PDS175SC	PDS265SC	PDS265SC	PDS390SC	PDS390SC
		-5B2 (BOX)	-5B2 (BOX)	-5B2 (BOX)	-5B2 (BOX)	-3B1 (スキッド)	-4B1 (トレーラ)	-5B1 (BOX)	-4B1 (トレーラ)	-5B1 (BOX)

●コンプレッサ

形式		スクリュ回転形1段圧縮油冷式								
空気量	m ³ /min	2.1	2.8	3.7	5.0		7.5		11.0	
吐出圧力	MPa	0.7								
コンプレッサオイル量	L	11		14	16		33		51	
レシーバタンク容量	L	20		30	30		69		98	
サービスエアバルブ×数量		20A×2ヶ			20A×3ヶ		50A×1ヶ	20A×3ヶ	50A×1ヶ	20A×4ヶ

●ディーゼルエンジン

名称		シボウラS753-C	シボウラS773-L	シボウラN843-L	日デ2A-TD27	いすゞ4LE2	日デ2B-BD30T	いすゞDD-4BG1T		
形式	水冷 4サイクル	3気筒 渦流室式	3気筒 渦流室式	3気筒 渦流室式	4気筒 渦流室式	4気筒 直噴式	4気筒 直噴式過給器付	4気筒 直噴式過給器付		
総排気量	L	0.954	1.131	1.662	2.663	2.179	2.953	4.329		
定格出力	kW/min ⁻¹	15.2/3,500	19/3,500	28/3,000	38/2,600	37.9/3,000	62/2,700	80.9/2,400		
使用燃料		軽油								
燃料タンク容量	L	28	28	70	90		114		180	
燃料消費量(70%負荷時)	L/h	4.0	4.4	5.5	7.5	7.0	11		15	
エンジンオイル量	L	4.5	5.1	6.0	12	8.5	10		13	
冷却水量	L	4.3	4.5	6.6	8.5	7.0	11		13	
バッテリー×数量		80D26R-MF×1					95D31R-MF×1		80D26R-MF×2	

●寸法・質量

全長	mm	1,460 ^{※1}		1,580 ^{※1}	1,850 ^{※1}		2,350 ^{※2}	2,000 ^{※1}	3,060 ^{※2}	2,600
全幅	mm	750		890	950	1,450	1,450	1,140	1,525	1,300
全高	mm	865		1,060	1,060	1,200	1,550	1,210	1,760	1,400
乾燥質量	kg	435	445	680	830	760	1,235	1,085	1,880	1,710
運転整備質量	kg	475	485	760	930	860	1,380	1,230	2,095	1,925
タイヤサイズ		—					145R12-8PR×2	—	175R13-8PR×2	—

●騒音値

音響パワーレベル(LwA)	dB	92[超]	94[超]	95[超]	95[超]	97[低]	97[超]	98[超]	97[超]	98[超]
音圧レベル(7m4方向、定格回転定格負荷)	dB(A)	65	66	67	67	69	69	70	69	70

※1 把手を除いたボンネットのみの寸法です。把手を含んだ寸法はPDS75SC/100SC:1,580mm、PDS130S:1,700mm、PDS175S:1,970mm、PDS265S:2,120mmです。
※2 ドローバを立てた状態の寸法です。ドローバを伸ばした状態の寸法はPDS265SC:2,850mm、PDS390SC:3,865mmです。
※音響パワーレベルの[]内は国土交通省の低騒音指定の区分を表します。

オプション

- 着脱式2輪トレーラ(PDS75SC~175SC[BOXタイプ])
コンプレッサが簡単に着脱できる現場内移動用の2輪トレーラです。
また、ドローバは収納に便利な折たたみ式です。
- ドレンタンク(PDS75SC~175SC) ドレンを一定量溜めることができます。
- オートドレン(ドレンセパレータ内蔵)(PDS75SC~175SC) ドレンが一定量溜まると自動的に排出します。



⚠ 安全に関するご注意

- 圧縮空気を圧気工法や潜水作業などの呼吸用、また 直接吸引する呼吸気系の機器には使用しないで下さい。
- トレーラは作業現場内での移動用のものです。一般道路をけん引して走行することは「道路運送車両法」で禁止されています。
- 取扱説明書にしたがって、安全にご使用下さい。
- 故障や事故を未然に防止するために、日常点検・定期点検を必ず行なってください。

- このカタログは、2006年10月現在のものです。仕様及び外観等は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。
- 指定色につきましては、別途塗装料をいただきますのでご了承ください。
- 印刷の関係上、塗装色など実際の製品と異なることがありますのでご了承下さい。

ISO9001
ISO14001



JQA-0581
JQA-EM4670



AIRMAN は北越工業株式の登録商標です。

北越工業株式会社

東京本社: 東京都新宿区西新宿1-22-2新宿サンエービル
営業本部 TEL 03(3348)7251(代)

北海道支店 011(222)1122 中部支店 0586(77)8851
東北支店 022(258)9321 金沢営業所 076(233)1152
関東支店 025(261)9001 西日本支店 06(6349)3631
北関東営業所 027(361)1600 高松営業所 087(841)6101
新潟営業所 025(261)9001 中国支店
東京支店 03(3348)8563 広島営業所 082(292)1122
千葉営業所 043(223)1092 九州支店 092(504)1831
横浜営業所 045(922)3337 南九州営業所 0995(62)4166
静岡営業所 054(238)0177 沖縄営業所 098(879)3311

ホームページ <http://www.airman.co.jp>

エアマン サービスセンター

株式会社エーエスシー

本社・東関東事業所 048(932)6401
西関東事業所 042(779)9666
名古屋事業所 0586(75)5521
金沢事業所 076(260)1071
大阪事業所 06(6349)3641
広島事業所 082(297)3500
高松事業所 087(844)8660

株式会社エーエスシー東北

022(259)0191

イーエヌシステム株式会社(新潟)

サービス課 0256(97)6151

●エアマン製品のお求めは...